

【令和4年度 和泉小学校 学校経営全体構想図】

令和4年4月1日
狛江市立和泉小学校
校長 鷲見 真太郎

令和4年度学校教育目標

東京都の教育目標

- ◎かしこい子：学びを活かす力
- やさしい子：共感する力
- たくましい子：やり抜く力

狛江市の教育目標

ベースとする児童の姿

よりよい自分であろうとし、前向きに生きる子

学びを活かす力

ポイント

- 内発的動機付け
(学びに向かう力の育成)
- 学び手主体の教育

- 個の学びを総合的につなげるカリキュラムマネジメント (SDGs)
- ゴールが連続・連結する探究的学習
- ICTの活用 (日常的な道具として)
- 言語の定着と充実 (基礎・基本)

共感する力

ポイント

- 自尊感情の向上
- 居場所としての学校
- 多様性の受容

- 自己有用感の向上
- 人権感覚・意識の醸成
- 外部機関との連携と活用
- WEBQUの更なる活用
(学級に居場所を作る)
- 幼保中高との交流活動の充実

やり抜く力

ポイント

- 自治を基盤にした市民教育
- メタ認知する力の育成
- 心身の健康

- 特別活動の充実
(自分たちが作る学校)
- マイキャリアパスポートの作成・活用 (振り返りの充実)
- 健康教育の充実
- 変化に対応できる力の醸成

実現するための手立て

児童の学びの確立

- カリキュラムマネジメントの推進
 - ・学び手主体の教育の推進→児童自らが作る学校
 - ・学びに向かう力育成の核として
 - ・学年経営マップの柔軟な活用
- ICTの活用 (タブレット端末を学習の道具として)
 - ・タブレットでしか得られない活用法の追求
 - ・児童をつなぐ道具として
- 個別最適な、協働的な学びの確立
 - ・個の学びの保証 (タブレットを特別支援の視点で)
 - ・協働的に学ぶことで得られる喜び・楽しさの実感
- 言語能力・言葉の充実
 - ・読書活動のさらなる推進 (ビブリオバトル等)
 - ・日常的、イベント的な活動の充実
- 教員研修の充実
 - ・OJT研修を日常的に実施 (講義・グループ)
 - ・職員会議ワークショップ
 - ・夕会時 ICT 研修

児童が安心して過ごせる居場所として

- 特別に支援することへの理解と啓発の推進
 - ・正確な児童理解と、ありのままを受け入れる度量
- 自己指導能力を育成する生活指導
- 外部機関との適切な連携
- WEBQUの積極的活用 (早稲田大学との連携)
 - ・データ分析と即時的対応
- いじめへの迅速な組織的対応
- 安全教育の充実

地域とともにある学校

- コミュニティスクールとして
 - ・中学校と一体の地域連携
 - ・目指す児童像の共有
- 積極的な情報発信
 - ・学校の日常を発信…新しい手段も活用して
- 地域行事等への参加
 - ・親睦と、教育に対する熱量の共有
- 幼保中高との連携…連続性を意識した内容

目指すべき教師の姿

- 子供とともにある喜びをモチベーションに、よりよい教育を追求し続ける
- 自身の強みを理解し、それを指導に活かすために磨き続ける
- 子供の内面の、目に見えない部分を理解しようと努め、ありのままを受け入れる
- 子供を大事にすることをベースに、保護者と連携し、信頼関係を構築する
- 危機意識を高くし、様々な状況を常に想定し、緊急時には迅速に対応する
- 学校は地域とともにあるということを意識し、願いや思いの共有に努める